

～ 今月の図書案内 ～

新緑の美しい季節ですね。GW はどのように過ごされましたか？
 今月は新着図書がありませんが、図書館からのおすすめ本を紹介します。
 現在、本屋大賞にノミネートされた作品も取り揃えていますので、今まで読んだことのない本にもチャレンジしてみませんか。

★図書館からのおすすめ本



「縁結びカツサンド」 冬森 灯

昔ながらの商店街にある老舗のパン屋「コテン」で、パンをきっかけに様々な人の人生が変わっていくお話です。店やパンの方向性に悩む三代目の店主や、就活中の学生、学校や受験に悩む小学生などが人との出会いを通し前向きに進めるようになります。読後感が良いのでおすすめです。



「トラックドライバーにも言わせて」 橋本 愛喜

何かと悪者にされがちなトラックの実態を、元トラックドライバーの女性ライターが解説しています。ハンドルに足を上げて休憩しているのは深い理由があったり、現場に早く到着してはいけない規則があったりと様々な現状がわかり、トラックドライバーの見方が変わります。

「科学のミカタ」 元村 有希子

科学記者として20年近くの著者が出会った数々の面白い事を、心おもむくままのテーマで紹介をしています。例えば、日本の藤田博士が世界基準「フジタスケール」を提唱したが、新しすぎて日本では異端者扱いされた。ゲノム解析、スマホ依存など心ときめいた話は、身近に接した目線ならではと思います。



「山小屋ガールの癒されない日々」 吉玉 サキ

社会不適合者だと落ち込んでいた著者に、幼馴染のチヒロが「山小屋で働けば」と提案する。山には山の社会があるという。登山経験のないまま、北アルプスの山小屋で働く事に。仕事、スタッフ、お客様との関係、自然の豊かさと怖さなど体験する中で自分を再認識していく。山小屋は楽しさと驚きもあり、覗いてみたくなりました。



「マンガ！—大英博物館マンガ展図録」

ニコル・クーリッジ・ルーマニエル/松葉 涼子【編】

2019年、大英博物館で開催され大好評を博した「Citiマンガ展」公式図録の日本語版。名作の原画等収録作品を多数掲載し、著名な50人の漫画家・編集者のインタビューや、美術や歴史の観点からの考察、マンガを多角的にとらえる解説、創作やヒットの秘密に迫る。マンガファンはもちろん、初心者もこれ一冊を読めば、日本マンガ専門家になれる！？



「家族のためのユマニチュード—

“その人らしさ”を取り戻す、優しい認知症ケア

イヴ・ジネスト/ロゼット・マレスコッティ

「ユマニチュード」とは「人間らしさを取り戻す」という意味のフランス語の造語で、見る・話す・触れる・立つ—4つの柱を使って、優しさを伝えるフランス生まれのケア技法。「魔法のよう」と称されるケア技法を、家族介護に活用できるよう数々のイラストで解説した入門書で、「あなたのことを大切に思っている」という気持ちを伝える技術が学べる。

開館時間 8:35～16:45 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります)

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30